

令和3年12月6日

大藪小学校 保護者様

輪之内町立大藪小学校
校長 寸田 良隆

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

晩秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、5月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、成果と課題を分析したものをとに、今後の教育活動についてお知らせします。

◇大藪小学校の学習状況◇

※全国平均のポイントより ○優れている項目 △やや低い項目

【国語】

- 資料を用いた目的を理解する。
- 目的や意図に応じ、資料を使って話す。
- 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。
- 目的や意図に応じて、理由を明確にしなが
ら、自分の考えが伝わるように書き表し方
を工夫する。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文
の中で正しく使う。
- △目的に応じ、話の内容が明確になるように
スピーチの構成を考える。
- △文の中における主語と述語との関係を捉え
る。
- △文の中における修飾と被修飾との関係を捉
える。

【算数】

- 速さを求める除法の式と商の意味を理解し
ている。
- 条件に合う時刻を求めることができる。
- 速さと道のりを基に、時間を求める式に表
すことができる。
- 帯グラフで表された複数のデータを比較
し、示された特徴をもった項目とその割合
を記述できる。
- 集団の特徴を捉えるために、どのような
データを集めるべきかを判断することがで
きる。
- 基準量を1としたときに比較量が示された
小数に当たる理由を記述できる。
- △二つの道のりの差を求めるために必要な数
値を選び、その求め方と答えを記述でき
る。
- △棒グラフから、項目間の関係を読み取るこ
とができる。

◇質問紙調査（学習や生活環境のアンケート）◇

※全国平均のポイントより ○優れている項目 △やや低い項目

- 毎日同じ時刻に起きたり、同じ時刻に寝たりすることができている。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守って
いる。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 友達と協力するのは楽しいと思う。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- 学級の友達との間で話し合う活動では、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて
自分の考えをしっかりと伝えている。
- △自分には、よいところがあると思う。
- △家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- △将来の夢や目標をもっている。
- △新聞を読んでいる。

以上の事項を踏まえた考察

- ・規則正しい生活を送ったり、家庭での約束を守ったりするなど、生活習慣が安定している。
- ・学習については、「好きだ」「大切だ」「役に立つ」と感じている児童の割合が高く、意欲的に取り組んでいる。
- ・家庭学習を必ずやる習慣が付いており、毎日1時間以上家庭学習をしている児童が7割以上である。ICT機器を活用して家庭学習をしている児童も、7割以上いる。
- ・思考力や表現力を高めるために、授業の中で仲間と対話することを繰り返し行ってきたことで、意欲的に学習に取り組んだり、仲間と考えを交流したり、話し合っって議論したりすることができる児童が増えてきている。
- ・国語では、主語と述語との関係や修飾と被修飾の関係を捉えて文章を読むこと、算数では、問題を解決するために筋道立てて考え、その考え方を記述することを苦手としている子が多い。

◇学校として力を入れたいこと

- ・文章を書いたり話したりする際に、主語と述語の関係を正しく捉えさせたり、語尾まで正しく述べさせたりする。
- ・文脈の中で漢字を書いたり読んだりする練習をする。また、辞書やタブレットを活用し、語彙を増やすようにする。
- ・技能の問題（計算問題など）は、授業の終末で多くの類似問題に取り組む時間を確保し、習熟を図っていく。
- ・考えたことを分かりやすく相手に伝えることを大切に、ペア交流などの対話的な活動を意図的に仕組んでいく。

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・「早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち」の基本的な生活習慣づくりをする。
- ・テレビやゲーム、インターネット等に関わる家族の約束や、町の情報モラル宣言を守る。
- ・学習時間の確保と学習の見届け（ノートの点検、励ましの声かけ、家庭学習パワーアップ週間の励ましなど）をする。
- ・読書（学年相応の本）をしたり、新聞を読んだりして、文章を読む機会を増やす。